

【目的】

有限責任中間法人日本臨床矯正歯科医会広報委員会では「歯の衛生週間」にちなんで一般市民が歯並びや矯正歯科治療に対してどのような印象や関心を持っているのかなどの意識調査を行った結果を去年同様に今年も行った。今回はその中でも、「歯並びへの意識」に関わる部分について報告する。

【資料及び方法】

今回、インターネットを用いて全国一般市民1000人(10代～50代の男女をそれぞれ100人ずつ計1000人)に「歯並びと矯正歯科治療」に関するアンケート調査を実施した。

これまでのアンケート調査では、効率や時間、コストなどの問題のため調査対象に偏りがあったり、調査対象数も少なかったが、今回パソコンの普及によるインターネットを利用した全国規模の調査が短期間で可能になった。

【結果及び考察】

◆ 歯並びの自己採点は48.9点

100点満点で、自分の歯並びに点数を付けてもらったところ、その平均点は48.9点と、50点を割り込む“赤点”となった。

◆ 矯正歯科治療が必要な潜在患者は67.9%。しかも、そのうち治療が必要だと考えているのは38.7%のみ

- あごが曲がっている
- 上の前歯の真ん中と、下の前歯の真ん中がズレている
- 奥歯でかんだとき、上下の前歯が咬み合わない
- 八重歯がある
- 前歯が出ていて唇を自然に閉じることが出来ない
- 下の前歯が逆に咬み合っている
- 下あごが突き出ている
- 歯並びにガタガタがある

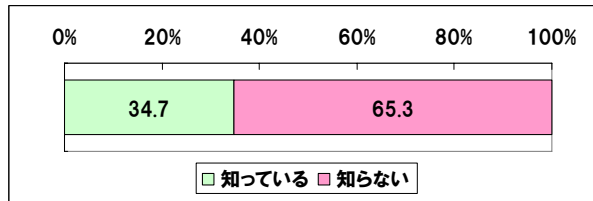
上記8つの項目に対して、1つでも「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した方を矯正歯科治療が必要な潜在患者とし、全体の67.9%の人が潜在患者であることが判明した。

さらに、その内38.7%の方しか「矯正歯科治療が必要だと思いますか」という質問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」と回答していなかった。

◆ 矯正歯科治療に年齢制限が無いことの認知度は34.7%

矯正歯科治療に年齢制限が無いことの認知度を調査したところ、わずか34.7%しか認知しておらず、その倍近い65.3%が「知らない」と回答した。

質問:矯正歯科治療には、年齢による治療制限がないことを知っていますか？



◆ 治療を始めたきっかけは、「歯並びが悪いから」に次いで、『歯並びが悪いと指摘されたから』

矯正歯科治療を行っている(行っていた)人々を対象にして、治療を始めたきっかけを自由記述形式で回答してもらったところ、最も多い回答は「歯並びが悪かったから」となった。次いで多い回答となったのは、『歯並びが悪いと指摘されたから』となり、他人からの指摘が治療へ踏み出す大きな要因となっていることが明らかになった。

質問:矯正歯科治療を始めたきっかけは何でしたか？

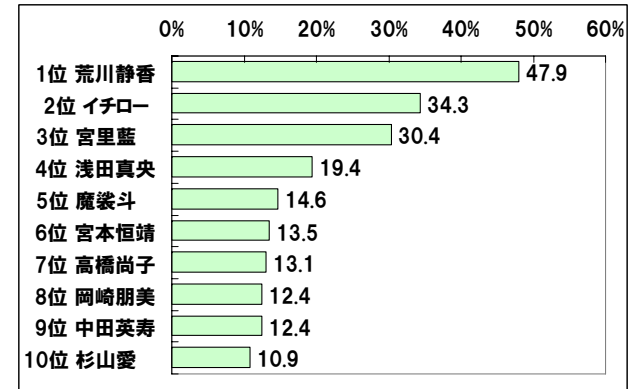
- 1位 歯並びが悪かったから
- 2位 歯並びが悪いと指摘されたから
- 3位 歯科検診・歯科医院にて、治療を勧められたから

その他 ビジネスシーンにおいて笑顔は大切だと思ったから
就職活動に向けて
歯の健康のため

◆ 歯並びがきれいなイメージのスポーツ選手は荒川静香

歯並びがきれいなイメージのスポーツ選手について回答してもらったところ、1位荒川静香、2位イチロー、3位宮里藍と、海外で活躍している選手が上位に挙がった。

質問:歯並びがきれいだと思うスポーツ選手をお答えください



今回の、歯並びの意識についての調査結果により、自分の歯並びは48.9点(100点満点)と評価は低く、潜在患者も67.9%と多く存在することが明らかになった。しかし、潜在患者の中で治療が必要という意識は低く、わずか38.8%であった。これは、矯正歯科治療には年齢制限が無いことの認知度が34.7%と、治療に対する理解の低さも一因と考えられる。

一方、治療を始めた理由として自身の歯並びが悪いことの認識もあるが、他人から指摘されたケースも多く存在した。「歯並びが綺麗なスポーツ選手」への憧れもあり、歯並び自体への意識は高いものと思われる。

【結論】

歯並びへの意識が外国同様に高まりつつあるが、自身の歯並びへの満足度は決して高い数値ではなかった。今後、多く存在する潜在患者に向けて、歯並びへの関心を更に高め、矯正歯科治療を選んで頂くための情報提供を促進していくことが重要である。